

セアカゴケグモに関する市民向けQ&A

とくちょう 1. 特徴

Q1. セアカゴケグモってどんなクモ？

A1. 原産地はオーストラリアで、海外からの貨物などに紛れ込んで日本に侵入してきた「特定外来生物」です。

現在では、東北の一部の県を除いた全国で生息が確認されています。

メスは毒をもっています。オスは毒をもっていません。

1年を通じて生存が可能で、日本では主に6月～10月にセアカゴケグモの活動が盛んになるようです。

Q2. メスのセアカゴケグモの見た目は？

A2. 成熟したメスの体長（口～腹部の一番下まで）は約1cmです。

全体的に光沢のある黒色で、背中に縦の赤い帯状の模様があり、お腹に赤色の部分があります。

Q3. セアカゴケグモの性質は？

A3. おとなしく、人に飛びかかるなどの攻撃性はありませんが、直接接触すると咬まれることがあります。

Q4. セアカゴケグモの巣の特徴は？

A4. 巣の形は、いわゆるきれいな蜘蛛の巣の形ではなく、不定形であり、綿ぼこりのように見えるものもあります。

冬場の巣には落ち葉や枯れ草や紙屑などが大量に絡まっている場合もあります。



2. 生息場所

Q1. セアカゴケグモはどんなところにいるの？

A1. セアカゴケは、日^ひ当^あたりがよく 暖^{あた}かくて低^{ひく}い場所^{ばしょ}にある、人^{じん}工^{こう}構^{こう}造^{ぞう}物^{ぶつ}のすきまや
裏^{うらがわ}側^{ないが}、内^す部に巣^{ばあい}をつくる場合^{おお}が多いです。

樹^{じゅ}木^{もく}や草^{くさ}むらの中^{なか}ではほとん^みど見^みつかりません。

全^{ぜん}国^{こく}では、以^い下^かのよ^ような場所^{ばしょ}や物^{もの}の周^{まわ}りでセアカゴケグモが確^{かく}認^{にん}されています。

① 家^{いえ}の周^{まわ}り

シャッター、雨^{あま}戸^ど、使^{つか}っていない自^{じてん}転^{しゃ}車^{しゃ}、自^{じてん}転^{しゃ}車^{しゃ}の泥^{どろ}よけカバ^もー、プランタ^もーの持^も
ち手^てや裏^{うら}、外^{そと}履^ばきのサンダ^おル、外^{そと}に置^おいてあ^{なが}った長^{ぐつ}靴^つ・ヘルメッ^つト

② 公^{こう}共^{きょう}施^し設^{せつ}

遊^{ゆう}具^ぐの裏^{うら}、ベンチ^{うら}の裏^{うら}、自^じ動^{どう}販^{はん}売^{ばい}機^き（下^{した}、取^{とり}出^{だし}口^{ぐち}）、フェン^きス基^ぶ部^ぶ、三^{さん}角^{かく}コー^んン
裏^{うら}、側^そ溝^{こう}（グ^{うら}レーチ^おング裏^{がい}）、屋^{おく}外^{がい}コンセ^んト

3. 予防

Q1. セアカゴケグモが生息^{せいそく}しにくい環^{かん}境^{きょう}にするた^{たい}め^{さく}に、ど^どのよ^ような対^{たい}策^{さく}があ^ありま^ますか？

A1. 生^{せい}息^{そく}しそ^ばうな場所^{しょ}（「2. 生^{せい}息^{そく}場所^{ばしょ}」を参^{さん}照^{しやう}）の清^{せい}掃^{そう}をこまめ^おに 行^おい、セアカゴケ
グモのすみにくい環^{かん}境^{きょう}を 整^とえてく^とだ^とさい。

Q2. セアカゴケグモにか^かまれ^かないよ^ようにするた^{たい}め^{さく}に、ど^どのよ^ような対^{たい}策^{さく}があ^ありま^ますか？

A2. ① ガーデニ^おングな^おど屋^{おく}外^{がい}で作^{さぎ}業^{ぎやう}する場^ば合^{あい}は、軍^{ぐん}手^てな^あど厚^あ手^ての手^て袋^{ぶくろ}や靴^{くつした}下^{ちやく}を 着^{よう}用^{よう}
する。

② 屋^{おく}外^{がい}に置^おかれていたもの（外^{そと}履^ばきのサンダ^おルな^とど）をさ^{とき}わる時^{とき}は、一^{かく}度^{にん}確^{にん}認^{にん}する。

③ セアカゴケグモを見^みつけても、絶^ぜ対^{たい}に素^す手^てで捕^{つか}ま^ええたり、さ^さわ^わつたりし^しない。

4. 発見時の対処

Q1. セアカゴケグモを見つけた時はどのようにすればよいのでしょうか？

A1. ①子どもが発見した場合

自分でさわらずその場を離れ、近くにいる大人にセアカゴケグモを見つけたことを伝え、対応してもらいましょう。

②大人が発見した場合

素手で捕まえたり、さわったりしないでください。

駆除を行う場合は、「4. 発見時の対処Q2」を参考にしてください。

クモの背中やお腹に特徴的な赤い模様（「1. 特徴」を参照）を見つけたら、念のため環境対策課環境保全担当班（097-537-5758）に連絡してください。

Q2. セアカゴケグモの虫体の駆除はどのようにすればよいのでしょうか？

A2. ①市販のスプレータイプの殺虫剤（ピレスロイド系）をセアカゴケグモの虫体に吹きかける。

②セアカゴケグモの虫体を踏みつぶす。

駆除したクモを捨てる時は、直接素手でさわらず手袋を着用するか、割りばしや家庭用ほうきなどを使ってください。

Q3. セアカゴケグモの卵のうの駆除はどのようにすればよいのでしょうか？

A3. 卵のうとは、クモの卵がたくさん入っているふくろ状のもののことです。

卵のうを割りばしなどではさんでビニール袋に入れて、袋の上から足でしっかり踏み潰してください。ビニール袋は、口をよく縛って燃えるごみとして捨てましょう。

Q4. クモを見つけたら、どんなクモでも駆除した方がよいのか？

A4. ほとんどのクモ類は害虫を捕食する益虫であり、駆除することで周囲の在来生物の生態系のバランスが崩れる原因にもなりセアカゴケグモが定着しやすくなるので、特別な理由がない限り、むやみに駆除しないようにしてください。

5. 咬まれた時の対処

Q1. セアカゴケグモに咬まれた場合は、どのようにすればよいのでしょうか？

- A1. 咬まれ箇所を水で洗い、患部を冷やし、すみやかに医療機関にご相談ください。
包帯や止血帯の使用は、むしろ痛みを増強することになりますので、使用しないでください。
受診する際は、咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを医療機関へご持参ください。

Q2. セアカゴケグモ咬まれた場合、どのような症状が現れますか？

- A2. 咬まれた瞬間はほとんどの場合、針で刺されたような痛みを感じます。
国立感染症研究所によれば、今までの報告では刺し口周辺の発赤、局所から拡がる痛み、しびれ、軽度の腫脹を訴える場合が多いとのことです。
通常は咬まれてから数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間持続することがあります。
重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます。
国内ではこれまでのところ、セアカゴケグモの毒で死亡した例はありません。

6. セアカゴケグモの相談、啓発に関すること

Q1. 大分市内で発見されているセアカゴケグモの情報はどこで確認できますか？

- A1. 大分市ホームページの『特定外来生物「セアカゴケグモ」にご注意ください！』をご覧ください。

Q2. 発見したクモがセアカゴケグモか、そうでないのか分からないのですが、どこに相談すればよいですか？

- A2. 大分市環境対策課にご連絡下さい。クモの写真などから、セアカゴケグモか、そうでないか判断し、回答します。
判断が難しい場合は、専門家に相談しますので回答に1週間以上かかります。

大分市環境対策課 電話 097-537-5758 E-mail kankyotai5@city.oita.oita.jp